

議会報告会と市民の意見を聴く会

問合せ 議会事務局 (☎ 76 - 1168)

市民に開かれた、信頼される議会を目指し、「議会報告会と市民の意見を聴く会」を開催します。
どなたでも参加できますので、ぜひ会場へお越しください。

日時 4/27 (土) 10:00 ~ 11:30 (9:45 開場)

場所 本庁舎 6 階 601 会議室

内容

第1部 議会報告会

令和6年第1回定例会における審議内容について報告します。

第2部 市民の意見を聴く会

3つの常任委員会に分かれて、それぞれ下記のテーマについて意見交換します。

- 自治会活動【総務委員会】
- こどもまんなか社会【福祉厚生委員会】
- 道路整備と渋滞緩和【文教建設委員会】

※手話通訳・要約筆記が必要な方は4/5(金)までにお申込みください。

☎ 76 - 0360 ✉ gikaigiji@city.komaki.lg.jp



詳しくはこちら▶



▲昨年度の報告会、意見交換の様子

第2回

問合せ 教育総務課 (☎ 76 - 1164)

新たな

学校づくりに向けて

新たな学校づくり推進計画の策定を進めています



詳しくはこちら▶

学校規模の標準は、法令上は小学校・中学校ともに「12学級以上18学級以下」とされていますが、近い将来、小牧市では学校規模の標準を下回る学校（以下「小規模校」）が増える見込みです。

令和15年度の推計では、小学校では三ツ淵、篠岡、小木、桃ヶ丘、陶、光ヶ丘、大城の7校が、中学校では篠岡、北里、桃陵、小牧西、光ヶ丘の5校が小規模校となる見込みです。

小規模校には「きめ細かな指導がしやすい」「人間関係が深まりやすい」「個別の活動の機会を与えやすい」などの利点がある一方、次のような課題もみられます。

学校運営上の課題

クラス替えが困難、切磋琢磨する機会の減少、部活動の種類が限定される
多様な指導形態がとりにくい、教員の減少に伴うさまざまな弊害

児童生徒への影響

人間関係の固定化、社会性やコミュニケーション能力が身につけにくい
進学先の大きな集団への適応に困難をきたす可能性がある

小牧市が目指す教育

学校は社会の縮図と言われており、性別、国籍、個性など多様な他者、多様な価値観の中で、思考力や社会性、人間関係などを形成する力を育む場でもあります。

子どもたちに豊かな学びを保障するためには、子どもたちがさまざまな見方や考え方、価値観、文化などの多様性に触れる機会が重要です。そして、多様性に触れ、人間関係の固定化を防ぐためには、適正な学校規模を維持していく必要があると考えています。

次号では、小牧市の地区別の課題についてお知らせします。